

合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート(事後評価)

評価実施年月:平成27年2月

1. 対象事業	松山市合流式下水道緊急改善計画																																
2. 事業主体名称	松山市																																
3. 計画期間	平成17年度 ~ 平成25年度																																
4. 対象事業の進捗状況	<p>下記の内容について、当初計画どおりに実施し完了した。</p> <p>汚濁負荷量の削減</p> <p>以下の対策による汚濁負荷量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遮集管渠の建設</li> <li>・ 雨水滞水池の整備</li> <li>・ 処理場既存水処理施設の余裕能力を有効利用</li> </ul> <p>公衆衛生上の安全確保</p> <p>越流回数削減の条件であった、新設遮集管渠の建設、雨水滞水池の整備により越流回数を半減</p> <p>きょう雑物の削減</p> <p>全ての吐き口にきょう雑物削減のためのろ過スクリーンを設置</p>																																
5. 目標達成状況と達成の見通し	<table border="1"> <thead> <tr> <th>改善項目</th> <th>改善目標</th> <th>改善前</th> <th>目標</th> <th>改善後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>汚濁負荷量の削減</td> <td>分流式で整備した場合に排出する汚濁負荷量と同程度以下にすること。</td> <td>154,475kg/年</td> <td>140,411kg/年</td> <td>132,438kg/年</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">公衆衛生上の安全確保</td> <td rowspan="4">全ての吐口において、未処理放流回数を半減させる</td> <td>道後:90回</td> <td>道後:45回</td> <td>道後:39回</td> </tr> <tr> <td>八坂:66回</td> <td>八坂:33回</td> <td>八坂:30回</td> </tr> <tr> <td>千舟:47回</td> <td>千舟:23回</td> <td>千舟:13回</td> </tr> <tr> <td>処理場:28回</td> <td>処理場:14回</td> <td>処理場:14回</td> </tr> <tr> <td>きょう雑物の削減</td> <td>全ての吐口において、きょう雑物の流出を極力防止する</td> <td>0箇所/4箇所(0%)</td> <td>4箇所/4箇所(100%)</td> <td>4箇所/4箇所(100%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>「松山市合流式下水道緊急改善計画」の目標値</p>				改善項目	改善目標	改善前	目標	改善後	汚濁負荷量の削減	分流式で整備した場合に排出する汚濁負荷量と同程度以下にすること。	154,475kg/年	140,411kg/年	132,438kg/年	公衆衛生上の安全確保	全ての吐口において、未処理放流回数を半減させる	道後:90回	道後:45回	道後:39回	八坂:66回	八坂:33回	八坂:30回	千舟:47回	千舟:23回	千舟:13回	処理場:28回	処理場:14回	処理場:14回	きょう雑物の削減	全ての吐口において、きょう雑物の流出を極力防止する	0箇所/4箇所(0%)	4箇所/4箇所(100%)	4箇所/4箇所(100%)
改善項目	改善目標	改善前	目標	改善後																													
汚濁負荷量の削減	分流式で整備した場合に排出する汚濁負荷量と同程度以下にすること。	154,475kg/年	140,411kg/年	132,438kg/年																													
公衆衛生上の安全確保	全ての吐口において、未処理放流回数を半減させる	道後:90回	道後:45回	道後:39回																													
		八坂:66回	八坂:33回	八坂:30回																													
		千舟:47回	千舟:23回	千舟:13回																													
		処理場:28回	処理場:14回	処理場:14回																													
きょう雑物の削減	全ての吐口において、きょう雑物の流出を極力防止する	0箇所/4箇所(0%)	4箇所/4箇所(100%)	4箇所/4箇所(100%)																													
6. 対象事業の整備効果の発現状況	<p>本市における平均的な降雨(H10)に対する整備効果の発現状況は、計算上、下記のとおりである。</p> <p>汚濁負荷量の削減</p> <p>改善目標である140.4t / 年に対し、対策後132.4t / 年であり、達成率は157%である。</p> <p>公衆衛生上の安全確保</p> <p>各吐口の達成率は、道後113%、八坂109%、千舟142%、処理場100%である。</p> <p>きょう雑物の削減</p> <p>すべての吐口にろ過スクリーンを設置済みであり、達成率100%である。</p> <p>降雨の状況は毎年異なり、整備効果の発現状況の把握が困難であるため、雨天時放流水質が基準値内(BOD40mg / L以下)であることを確認する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査日</th> <th>降雨量(mm)</th> <th>最大降雨強度(mm/hr)</th> <th>雨天時放流量(m<sup>3</sup>)</th> <th>放流負荷量BOD(kg)</th> <th>平均放流水質BOD(mg/L)</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年10月21日</td> <td>12.5</td> <td>11.0</td> <td>47,526</td> <td>1,699</td> <td>35.8</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>平成26年11月9日</td> <td>18.0</td> <td>4.5</td> <td>54,729</td> <td>1,097</td> <td>20.0</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>平成26年12月11日</td> <td>15.5</td> <td>6.0</td> <td>47,997</td> <td>837</td> <td>17.4</td> <td>達成</td> </tr> </tbody> </table>				調査日	降雨量(mm)	最大降雨強度(mm/hr)	雨天時放流量(m <sup>3</sup> )	放流負荷量BOD(kg)	平均放流水質BOD(mg/L)	判定	平成26年10月21日	12.5	11.0	47,526	1,699	35.8	達成	平成26年11月9日	18.0	4.5	54,729	1,097	20.0	達成	平成26年12月11日	15.5	6.0	47,997	837	17.4	達成	
調査日	降雨量(mm)	最大降雨強度(mm/hr)	雨天時放流量(m <sup>3</sup> )	放流負荷量BOD(kg)	平均放流水質BOD(mg/L)	判定																											
平成26年10月21日	12.5	11.0	47,526	1,699	35.8	達成																											
平成26年11月9日	18.0	4.5	54,729	1,097	20.0	達成																											
平成26年12月11日	15.5	6.0	47,997	837	17.4	達成																											
7. 事業の効率化に関する取り組み状況	<p>松山市では、未処理放流を極力削減するため昭和57年スワール分水槽の建設をはじめ、合流区域の分流化にも取り組んでいる。</p>																																
8. 今後の方針	<p>合流改善事業の完了に伴う事後評価結果により、改善目標は達成済みとなる。今後は、長期的な目標である分流化事業を推進し、未処理下水の越流回数、雨天時放流負荷量の削減を目指す。</p>																																